第26号 H29年10月発行 発行所 ホーム・スイー ホーム きらり

さもしだいにつのり、 朝夕はめっきり冷気を覚える時 節

なってまいりました。

皆 様

いかがお過ごしでしょ

うか。

寒

笑顔を一番に、 が続いておりま  $\mathcal{N}$ 月にきらり夏祭り、 安心 たが、 た生活」 無事終えることができまし 九月に敬老会と行事があり、 が送れるように日々 た。 のケアに 皆様の しし  $\Box$ 

これ からの季節、 冷 え込みが厳しくなります  $\mathcal{O}$ ぐ お身体に

お気をつ け くださ 努めたい

と思いま

## 社 2" 挨

とと、 十周年を迎えることができまし 計 ホ 務 所 あ は、 たた 厶 ス か 創業五十周年を迎えることができまし 11 ご支援の ホ もとに、 ムきらり も本年五 私 たち株 눛 月二十七日 会社 た。 中 林 で、 また 建築

頃から 力を賜り こうして節目の年を迎えることができまし のご理解とご支援のたまものであると感じ た皆様に 心 か ら感謝申 上 げま た 0) て お 皆様 0) 尽 日

らっ

しゃ

いました。

今年は、

して下さいました。

迎え、

顧客の利益を追 業務内容の 継 続的 求 改善と自己啓発、 地域社会へ 0) 個 貢 献 人 0 社員 能力向上を の幸せを目 ŋ

の

手をい

れて楽し

んでいらっ

しゃ

いまし

太鼓や音頭を披露

標とする》

この ねて 同じにし、 当社が掲げて V きますので、 お客様ひとりひとりの幸せを思 いる品質 今後とも宜しくご指導頂 方針 な基に、 ス タツ Ŋ きます 更なる努力 フ 同  $\neg$ 志 お を重 を 願

八式会社 中 林 建築設 計 事 務 所 代 表 取 締 役 社 長 中 林 直文

### き ら り 夏 祭

で 美 した。 場となっ 川 Ш きら た り 61 けるさんをお呼び 今年の催 たレ 歌声 夏祭りも ストランも沢 を披露して頂 物は昨年 今年で十回目を迎えま Ш きました。 からのご縁で 歌謡ショ  $\mathcal{O}$ お客様で 会

らっ た 大 今 年は出店 焼きも復 61 まし た。 活 ゲー とても賑やかで華や ムコー ま た。 職 員 をロビー ŧ 朝 かなショ に設けて、 から汗をかきながら C した。 何年ぶり ま

埋ま

会場の

外までお客様が聴

61

7

た。 かっ <u>ر</u> ا 大判 たです。 と言って召し上がって下さり、 焼き作りを頑張り かき氷も力 ま レー た。 も好評で 美味 嬉

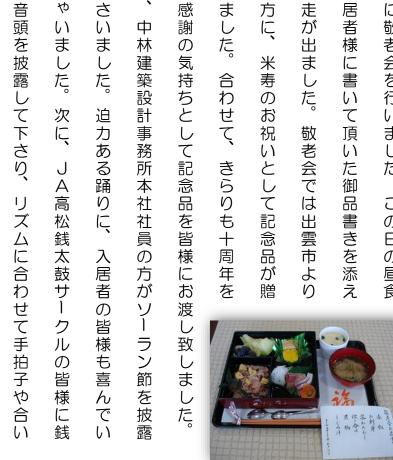
でした。 空いっぱ お祭り最後のお楽しみである花火も 花火を見ると、 いにキラキラ弾け、  $\neg$ 今年も無事に とても綺麗

終わったな 誰もが笑顔で喜ぶ夏祭りを考えて と実感 します。 来年も、 いきた 皆様と一緒に楽し いと思いま め

る

# 会

三名の方に、 は 呈されました。 たご馳走が出ました。 九 月に敬 入居者様に書いて頂い 老会を行い 米寿の 合わせて、 お祝い ま 敬老会では出雲市 た。 きらりも十周年を た御品書きを添え として記念品が贈 この日の昼食



これからも皆様の健康と笑顔の絶えない生活を送って頂ける

よう努力して参ります。



## お 知

昨年と同様、 きらり夏祭りで行い 売上全額を日本赤十字社 まし たバザー は

に寄付させて いただきまし





ます。 下 から流行っ さ 秋 61  $\mathcal{O}$ ます また、 健 康診 よう、 てきますので、 面会にいらっ 断 よろ シフ お願 しゃ 日々のケアに十分に気をつけたいと思い ルエンザ予防接種を行い る際は、 61 ます 予 防の為 手指消毒をして ま し た。  $\subset$ れ